

# YWVOB会 会報 No.19

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

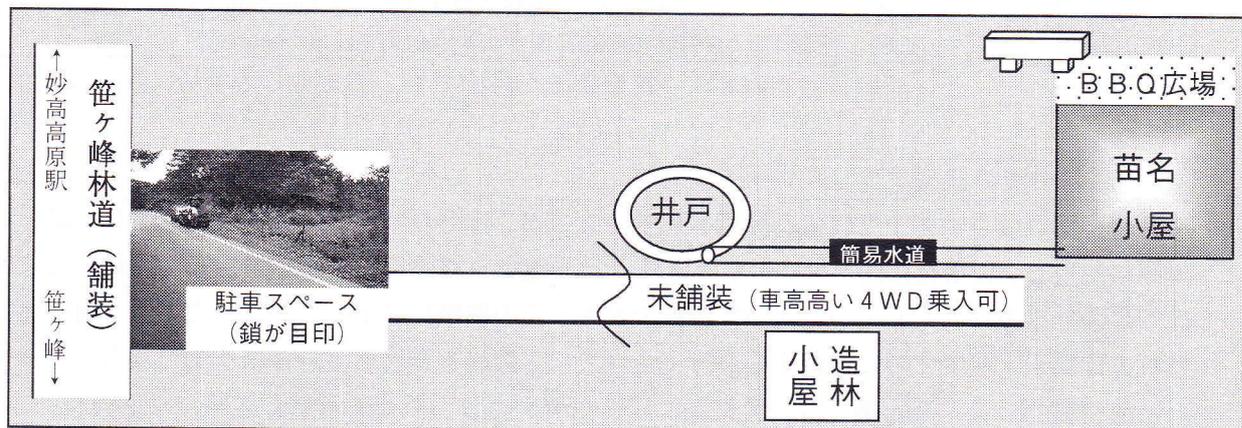
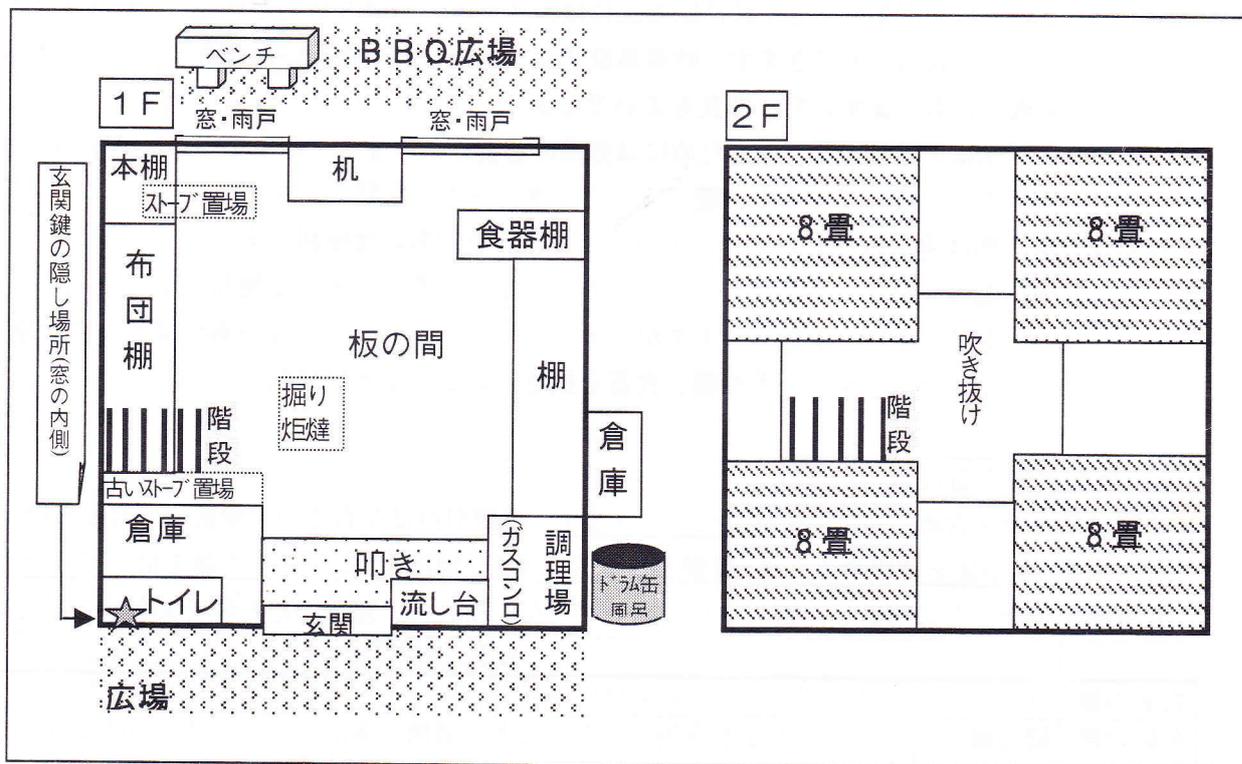
2001年9月8日発行

## 第1章 苗名小屋ガイド

OB小屋委員長：笹倉実(30)

現役とOBによる定期保守や雪おろし、近年の皆様のご寄付、OB有志による快適化計画により、苗名小屋も寿命を徐々に延ばし、快適になっています。小屋は住宅同様、利用すればするほど長持ちします。今回はより多くの方に小屋を利用していただきたく、苗名小屋をガイドさせていただきます。設備も充実し、今年は簡易水道や仮設電気も整備されました。立ち寄りでも結構ですので、ぜひ一度お越し下さい。

### 1) 苗名小屋の見取り図



## 2) 苗名小屋の四季

5月	無雪期	小屋で一番快適に過ごせ、車があれば行動半径が広がる時期です。休みをとった方がいいものの、どこもかしこも混んでいるので小屋に立ち寄る人も多いようです。
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月	積雪期	12月には雪が積もり、スキー場もオープン。クリスマスから年越しにかけて現役やOBが多数集います。当然防寒対策は必要ですがストーブや炬燵があります。小屋は雪に覆われ、内部は積雪のためにほとんど光が入りません。昼間は誰もいない銀世界で遊び、夜は寒い中で熱燗で暖まるといった贅沢が味わえます。
12月		
1月		
2月	残雪期	小屋の周囲は一面の銀世界で、スノーキャンプに最適の時期です。例年GW初日。までに笹ヶ峰までの除雪が完了するため、GWは車でのアプローチが可能です
3月		
4月		

## 3) 苗名小屋の生活

- ①食料：苗名小屋には、食糧を備蓄しないようにしております。各自自炊用の食糧を持参してください。杉の沢集落周辺や妙高駅周辺には、スーパーやコンビニが点在していますので、車があれば買出しもできます。妙高高原駅前や国道18号線沿いの食堂や、おいしい蕎麦屋も近辺にありますので、外食もよいでしょう。
- ②水：井戸水はありますが、飲むためには煮沸の必要があります。林道途中の五八木バス停前の湧き水を汲んでくるか、麓でミネラルウォーターを買って来てください。
- ③持ち物：無雪期は手ぶらでも大丈夫ですが、以下のものがあれば便利です。  
 「懐中電灯」夜中に目覚めた時など、ちょっとした明かりとして便利です。  
 「シュラフ」布団は多数ありますがシュラフやシュラフシート等があればさらに快適です。  
 「ウェットティッシュ」手や顔、食器を拭きたいときなどに便利です。

## 4) 施錠と鍵の管理について

小屋は両戸側を含め、完全に施錠されております。玄関引戸は左右2つの鍵前いずれかで開けることが出来ます。小屋を使用する方は、原則として五八木荘(岡田氏)より右扉の鍵を借りてください。もし夜間・早朝などに到着し、五八木荘に立ち寄れない場合は、左扉の隠し鍵をお使いください。

	保管場所	入手、返却場所
右扉の鍵	五八木荘	五八木荘 0255-86-6023 (地図参照)
左扉の鍵	隠し鍵 (緑の札付)	小屋トイレ小窓を外から開けると、裏側に鍵がストラップでかけてあります。 問 笹倉(30) 042-573-7312 <a href="mailto:sasakura@rtri.or.jp">sasakura@rtri.or.jp</a> (職) 合 090-3907-7537 / 045-373-1435 <a href="mailto:sasakura@fh.freeseve.ne.jp">sasakura@fh.freeseve.ne.jp</a> (自) せ 笠原(41) 090-4172-0032(携) <a href="mailto:kasahara@ma3.justnet.ne.jp">kasahara@ma3.justnet.ne.jp</a>

いずれの鍵を使った場合でも、必ずもとの場所に戻してください。

## 5) 苗名小屋の設備について

苗名小屋にはさまざまな設備が用意されていますが、利用の際は利用者の自主管理をお願いします。清潔に使用し、使用後は備え付けのほうきまたは発電機+掃除機できれいに掃除をお願いします。備品や灯油は自由に使用していただいて結構ですが、火の取扱には十分ご注意ください。山小屋であり燃料の確保が大変ですので節約を心がけてください。備品を損傷あるいは紛失した場合、又は損傷した備品や箇所を発見した場合は、速やかに現役部員かOB小屋委員会にご連絡ください。

A) 炊事	炊事場にプロパン式ガスコンロが1台あります。釜、大鍋、小鍋、やかん、箸、焼網などがあります。使用後は洗って煮沸を行い、元の位置に戻してください。ガスコンロは最後にボンベ元栓を閉め忘れないようにご注意ください。小動物に荒されないよう、調味料や保存食は棚にある大型タッパーにしまってください。食べ物の屑等も残さないようにお願いします。
B) 水、流し台	五八木荘の造林小屋前の井戸から水道を引いております。小屋の台所流し台も使用可能で、この流し台と小屋外（南側）の2カ所に蛇口があります。洗い物や掃除に使ってください。井戸水を調理、飲用に使用する場合は必ず煮沸してから使って下さい。笹ヶ峰林道を下った五八木バス停の道路脇には名水の湧水があり、これはそのまま飲めます。
C) 暖房	ストーブは雨戸側にある新しい3台が使用可能です（階段下の古いストーブは使用できません）。ポリタンクに灯油があります。こたつは、掘りごたつ式（七輪を使うもの）と、豆炭を入れる箱をこたつに取り付ける方式の2台が使えます。いずれも豆炭数個をガスコンロで火入れし、使ってください。豆炭は倉庫または台所の大袋に入っています。掘りごたつは、玄関近くの床の蓋を上げ、中の枠組みを組み立ててください。
D) 明かり	小さな灯油ランプ、EPIガスランタンがありますが、使い慣れたランタン、懐中電灯やろうそくを持ってくれば何かと便利です。その他ホヤ式ランタンもあり、150w程度の明るさで大変明るいですが、ホワイトガソリンを使用するため取扱いには慣れが必要です。 <b>灯油とホワイトガソリンは絶対に間違えないでください。</b> 又、発電機を使い、小屋備え付けのコードリールと投光器を利用した明かりも可能です（投光器は60w電球型と500wハロゲンライトの2台があります）。発電機には初心者にも分かりやすいよう、説明用のシールを貼ってあります。
E) 布団	十分にあります。使用後は重い敷布団を左側の棚に、毛布等軽い布団を右側の棚に戻して下さい。標高が高いためシュラフを持参し併用すればより快適に過ごせます。
F) BBQセット	調理場にバーベキューコンロと金属串があります。野外行事にお使いください。
G) ポータブル発電器	700w程度まで使用が可能なAC100Vポータブル発電器（赤色）があります。レギュラーガソリン3リットル弱で5～6時間連続運転できます。使用時は排気ガスが背面より出ますので、玄関外などに持ち出して回し、コードリールで小屋内に電気をひいてください。使用後は湿気・ホコリ等による故障を防ぐため、倉庫でなく、居室内に保管下さい。レギュラーガソリンは、トイレ横の倉庫棚に赤い金属の5リットル携行タンク（2台）に入っていますが、使用した分のガソリンは山麓のガソリンスタンド等から各自このタンクで補給してください。
H) 掃除機	電気掃除機が1台あります。発電機を使えば使用可能です。小屋が大変綺麗になりましたので、小屋利用の際は清掃に御協力ください。
I) ドラム缶風呂	小屋南側外に黒色の風呂用ドラム缶と五右衛門蓋、L型鋼材があります。コンクリブロック焚き台の上にL型鋼材を並べ、ドラム缶を載せて近くの水道ホースから半分程度水を入れてください。焚き木は落ち枝等です。
J) 燃料	現在3種の燃料があります。特に灯油ストーブにガソリンを間違えて入れると火災の危険がありますのでご注意下さい。誤使用を防ぐため次のように分散して保管してあります。 ●レギュラーガソリン：発電機等の保守機器用 →トイレ横の倉庫棚に赤い金属の5リットル携行タンク ●ホワイトガソリン：ガソリンランタン用 →居室南側棚にあるホワイトガソリン缶 ●灯油：ストーブ、灯油ランプ用 →居室北東側にあるポリ容器（20リットル容器数個）
K) トイレ	小屋内に汲取り式トイレがあります。年数回現役・OBで汲取りを行ってありますが、長くもたせるために、男性の小キジは小屋の外で済ませていただければ助かります（場所は滞在者同士で決めてください）。

## 6) 使用料金

使用料金は小屋奥の机の上にある料金箱に入れてください。1泊あたりの金額は以下の通りです。

	現役	OB	部外
夏期 (6～9月)	¥100	¥150	¥250
冬期 (10～5月)	¥150	¥250	¥350
その他寄付金・物品・燃料歓迎			

## 7) 麓の情報

### 【買い出し】

スーパー	NARUS 関山店	0255-82-4000	～22時		妙高村大字 関山 3056	18号を北上、約7和
その他、妙高高原駅付近や杉の沢に小中規模のスーパーが点在しています。						
ホーム センター	コメリ妙高店	0255-81-3103	～20時	家庭大工や 日用品	妙高村大字 関山 575-1	18号を北上、約7和
酒	メインマート 妙高高原店	0255-86-5102	～20時	酒のディスカ ウントストア	大字関川 1421	杉野沢からの道と 18 号バイパスの交差点
コンビニ	セブンイレブン 妙高高原店	0255-86-4937	24hr	酒あり	大字毛祝坂 91-1	妙高高原駅から北へ 出る道と旧18号の角
コンビニ	ソルティ後藤	0255-86-2126	7:00～	酒あり	大字関川 635-1	

### 【風呂】

温泉街妙高には日帰りできる入浴施設があります。ワンゲルで主に利用している施設を記載します。

ランドマーク妙高高原 (池の平交差点前)	0255- 86-5130	池ノ平 2413-11	1000円 (3hr)	入浴は 深夜1:00 まで	タレ(大&小)は料金内。石鹸、シャンプーあり。露天風呂、サウナあり。仮眠施設は22:30～8:00までいつでも可
杉の沢温泉“苗名の湯” (五八木荘近く)	0255- 86-6565	大字杉野澤 2030	450円	～21:00	タレ(小)料金内。石鹸、シャンプーあり。
簡保のやど妙高高原 (いもり池近く)	0255- 86-2454	関川 2251-2	500円		石鹸、シャンプーあり。

## 8) 苗名小屋へのアプローチ

### 【無雪期のアプローチ】

#### ①マイカー

東京から上信越道妙高高原 IC まで約3時間、ICから小屋まで30分です。小屋に続く笹ヶ峰林道は4月末～11月20日頃まで通行可能です。妙高インターを降りてから杉の沢集落を經由し、笹ヶ峰に向けて完全舗装の林道を登り続けます。杉の沢から3キロ程度曲がりくねった急坂を登り続けると、左手に五八木バス停と広場があります(直前左側路肩に“笹ヶ峰まで6キロ”の小さな看板あり)。ここでは野尻湖や斑尾方面のワイドな展望が楽しめます。道路向かい側には湧水があるので、汲んでいくとよいでしょう。

さらに数100m進むと右側にゲートがあり、工所用林道が奥へ続いています。昔はシブタミ橋という橋がありましたが、道路の付け替えで道路の右手に追いやられた格好となり、注意しないと見過ごします。

少し先には渋谷(シブタミ)バス停があります。注意してさらに150m進むと、右カーブを曲がったすぐ先の左手に、砂利が敷き詰められた部分があり、鎖で立ち入り禁止となっています。「私有地につき立ち入り禁止 五八木荘」の小さな看板があります。ここが小屋の入口です。路肩もしくは砂利の部分に、通行の支障にならないよう駐車してください。舗装道路と砂利の部分には段差があります。入りすぎると草で隠れた穴にはまるかもしれないので注意してください。車高の高い4WDであれば小屋の入口まで進入可能です\*。

小屋の入口からは幅2mほどのデコボコの小道を道なりに歩きます。50mほどで左手に井戸が見え、右手に造林小屋が出てきます。さらに30m進み、突き当たったところが苗名小屋です。

\*泥濘がないとき4WD車であれば小屋前までの小道も走行可能です。山菜取りなど第三者が車で小屋まで立入るのを防ぐため、林道入口の鎖にはカギがかかっています。鍵は小屋の流し台脇にかけてあります。

## ②電車などの公共交通機関

6月～11月の期間は週末を中心にバス（1日3本）もあります。妙高高原駅から、笹ヶ峰行きバスで「渋谷(シブタミ)バス停」で下車し、進行方向に150m歩くと小屋入口です。渋谷バス停の一つ手前の「五八木バス停」で降りれば道路反対側に湧水がありますので、水が必要な場合は汲んでいって下さい。妙高高原駅から渋谷バス停までの料金は700円です。

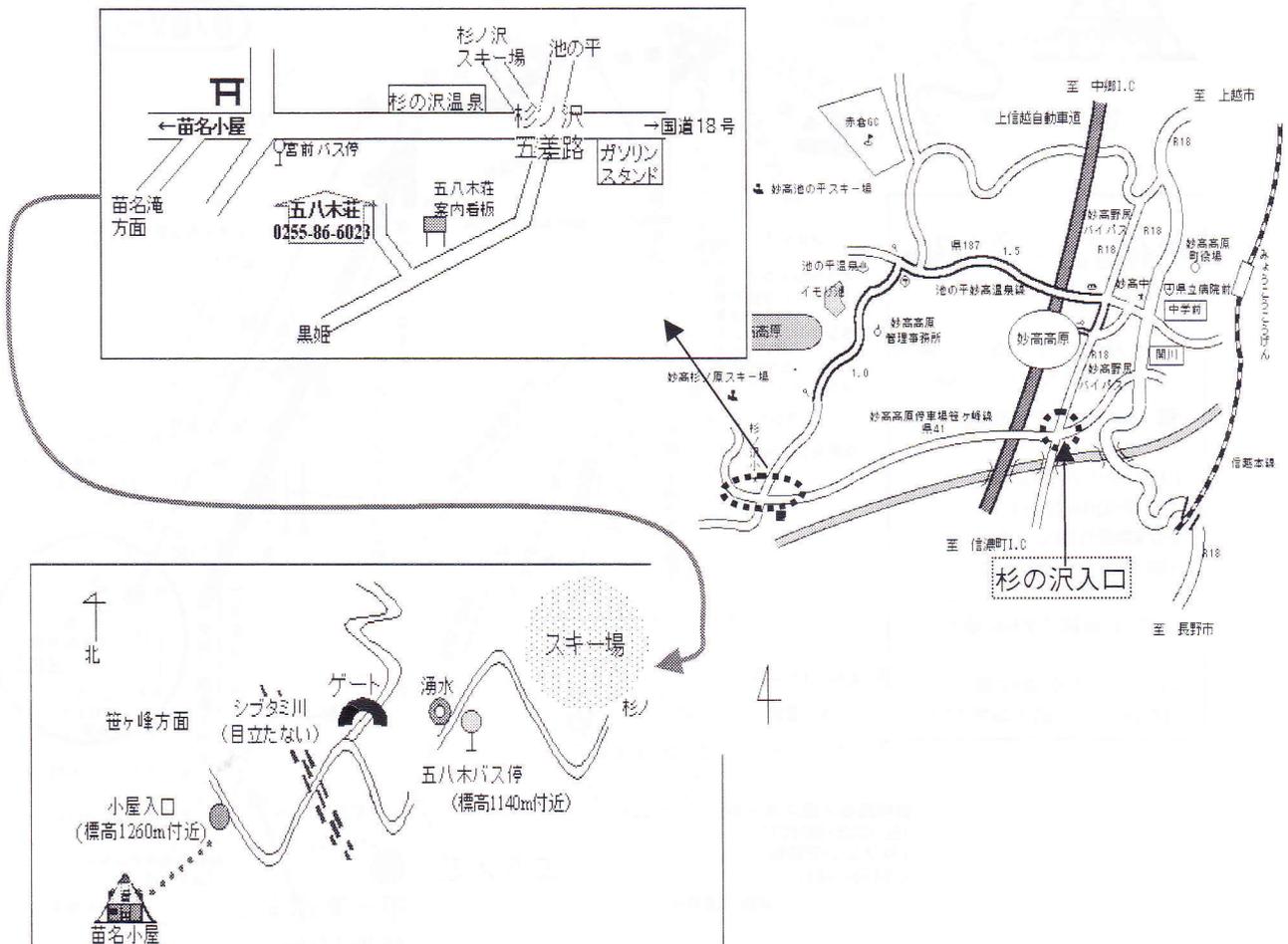
笹ヶ峰に行く途中で降りる乗客は減多にいません。前もって運転手さんに一声かけた方が無難です。なお、タクシーは最終電車まで妙高高原駅前まで待機しており、小屋までは約5000円です。

### 【電車+バスによるアプローチ例】

往き					
東京発 (長野新幹線)	長野駅着	長野駅発	妙高高原駅着	妙高高原発 (笹ヶ峰行バス)	渋谷バス停着
6:26(あさま501)	8:04	8:12(特急みのり3号)	8:52	9:00	9:30頃
8:40(あさま503)	10:20	10:31(快速信越1号)	11:21	11:30	12:00頃
11:40(あさま515)	13:30	14:19(信越線普通列車)	15:00	15:10	15:40頃
帰り					
渋谷バス停発 (妙高高原駅行バス)	妙高高原駅着	妙高高原駅発	長野駅着	長野駅発 (長野新幹線)	東京駅着
9:58頃	10:40	12:25(信越線普通列車)	13:05	13:08(あさま515)	14:52
13:58頃	14:40	14:51(信越線普通列車)	15:31	15:56(あさま524)	17:40
16:38頃	17:20	17:37(信越線普通列車)	18:21	18:28(あさま530)	20:12

\*笹ヶ峰行バスはH13.6/1～7/15、8/24～9/30の金土日、7/20～8/19、10/1～11/4の毎日運行。

【問合せ：川中島バス妙高営業所：0255-86-3171(9:00から18:00)】





## (お知らせ) 苗名小屋“リフレッシュ2001”のご案内

OB小屋委員長/R2001実行委員会委員長：笹倉実(30)

昨秋初めての開催にも関わらず、大変盛り上がった「苗名小屋リフレッシュ2000」、今年も「苗名小屋リフレッシュ2001」として開催いたします。秋の3連休、行楽地の混雑と無縁の苗名小屋で久々にワングル気分にひたりませんか？築40年になる苗名小屋も最近では現役や一部OBの懸命な努力によって綺麗になっています。今年度整備の仕上げを兼ねて、みんなで小屋生活を楽しみましょう

### 『開催要領』

【日 程】平成13年9月22日(土)～24(祝) (予備日10/6-8) 雨天順延：9/21に判断して連絡  
10：30現地集合 部分参加、立寄りも大歓迎です。食糧計画の都合上事前に一報いただければ助かります。

【場 所】YWV妙高苗名小屋

【対象者】OB会員とご家族、YWV現役、部外有志 募集人員40名程度

【参加費】実費(食費、アルコール類等)

【持ち物】

着替え	焚き火、作業用に、汚れてもいい服を持ってきてください。
初日の昼食	その他の食事は買い出し隊が準備します
懐中電灯	夜間にあれば便利です。ヘッドランプがあればその方がよいでしょう。
防寒着	セーターなど
タオル、洗面道具	
シュラフ	出席者が多いと布団が不足するため、車で来る人はシュラフ持参に協力下さい
雑巾、新聞、	自宅で余っていたら寄付願います。皿(大皿、丼など)

【問合せ】

	メール	電話	FAX
笹倉 実(30)	sasakura@fh.freeseve.ne.jp	自宅 045-373-1435 携帯 090-3907-7537	042-573-7313(会社FAX)
池原盛彦(8)	ikehara@kisnet.or.jp m-ikehara@btc.co.jp	携帯 090-8846-9280	0257-45-5566(会社FAX)

【主な内容】・イベント(野外BBQ、焚き火、星の観察会、野天風呂(ドラム缶風呂)..etc)  
・小屋整備(防腐剤塗り、排水工事、駐車場作り、広場整備、大清掃...etc)  
・屋根修繕の検討

およその予定	9/22(土)			9/23(日)			9/24(祝)
	AM	PM	夜	AM	PM	夜	AM
	集合		BBQ/懇親会			BBQ/懇親会	掃除、解散
小屋利用案内	←→						
駐車場と小屋の看板設置		←→					
駐車場、広場整備(草刈、BBQ場設営)		←→					

## 小屋委員会からのお願い

OB小屋委員会は苗名小屋の今後をどうするか検討しております。苗名小屋に代わる新しい小屋を考えるにせよ現状の小屋を10年はもたせる必要があると考えています。ついては昨年に引き続き小屋維持管理のための寄付をお願いいたします。現状の小屋を10年もたせるためにはここ数年以内に屋根を修理する必要があります、それには約200万円が必要です。昨年100万円ほどご協力いただきましたが、記録的な大雪による雪降ろし費用に多くを費やしました。このような状況から今後数年山小屋寄付をお願いし積み立てていきたいと考えておりますので、ご協力お願い致します。趣旨にご賛同いただける方は同封振込用紙の寄付欄、( )内の“小屋”に○をつけ、金額をご記入願います。

(注)OB会の一般会計へのご寄付は、( )内の“一般”に○をつけて金額を記入して下さい。

## 第2章 第2回・第3回OB山行報告

第2回報告：総務委員長 田村 顕洋(34)

第3回報告：OB山行担当 小野恵美子(34)

### 第2回OB山行報告

参加者 嘉納(1)、吉田(1)、吉野(2)、塚原(2)、宮崎(2)、腰塚(3)、塩谷(3)、白井(3)、谷上(4)、斉藤(4)、郡司(4)、横山(4)、岡田(6)、永井(6)、松本(6)、松本(7)、服部(7)、林(7)、細田(7)、八島(7)、能地(7)、小林(7)、池原(8)、松本(8)  
シニアOB：計24名(男18、女6)  
日渡(9)、安藤(11)、狩野(14)、中島(15)、笹倉(30)、藤井(33)、田村(34)、小野(34)、細谷(38)、神谷(38)、山崎(39)  
シニアOBを除くOB：計11名(男8名、女3名)

日時・場所：H13.3.24(土) 茅ヶ岳(山梨県)

概要：第2回OB山行は、第25回シニア月例山行と合同で開催され、1～39期まで35名もの参加を得て無事成功しました。当日は第1回OB山行(H12.10北八ツ)と打って変わり良い天気、行動中は暑いほどの陽気でした。頂上からの展望は霞がかかり今ひとつでしたが、思いのほか他の登山者も多くなく、登り2時間下り1時間の快適な山行となりました。下山後は双葉SA近くの7期小林桂子さん経営の陶器店「器 桂処」に立寄り、おいしい山菜やビールをご馳走になりました(ありがとうございました!)

\*407-0104 山梨県双葉町竜地 2151-8 TEL/FAX0551-28-3501 携帯090-2489-5485 不定休(事前に電話をした方がよいそうです)



茅ヶ岳からの防火帯の快適な下り道



今回初登場のYWVOB会の旗 (小野、山崎)

### 第3回OB山行報告

参加者 嘉納(1)、吉野(2)、渡辺(2)、江崎(3)、亀井良英(5)、亀井昭子(5)、小林(7)、池原(8)、安藤(11)、狩野(14)、中島(15)、小泉(15)、笹倉(30)、藤井(33)、小野(34)、原田(36) 以上16名(男8名、女3名)

所：H13.8.4(土) 水ノ塔、籠ノ登(長野県)

久平駅集合(9:30)。今回は6名の方が初参加。佐久平駅までは好天で、日焼けを覚悟する暑さだった。車に分乗して車坂峠に着くなり、一転雲行きが怪しくなりましたが、林道脇に咲く高山植物に立ち止りながら高峰温泉までの林道をのんびり歩きました。高峰温泉で小泉さんと合流した途端に雷雨となり、軒下でしばし雨宿りした後、気を取り直して出発。約1時間の登りで水ノ塔山着(12:20)。風雨が強く、昼食後早々に出発。赤ゾレと呼ばれる古い噴火口の縁の豪快な尾根を歩き、籠ノ登山に着きました(13:35)。ピークは暴風でしたが麓の市街地は晴れ渡り、浅間山や八ヶ岳も望めました。ここだけ雨か・・・とボヤキつつ池ノ平に下山する(14:20)と好天に。しばし池ノ平を散策した後、バスで車坂峠に戻りました。天候には恵まれなかったもの、高山植物が咲き乱れる静かな良いコースでした。花の名前に詳しい方が多く、ヤナギラン、ツリガネニンジン、ホタルブクロなどたくさん

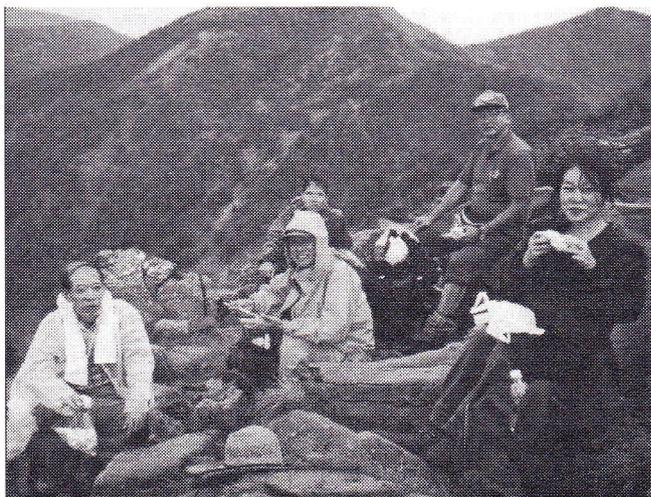
学びました。予想外の寒さに見舞われましたが、雨慣れした(?)メンバーが多く、和気藹々と楽しい山行となりました。



後列 池原、嘉納、原田、小林、江崎、藤井、亀井、渡辺、小泉、安藤  
前列 笹倉 吉野(旗) 亀井、加納、小野、中島



亀井良英さん、亀井昭子さん、安藤さん



渡辺さん、江崎さん(奥)、吉野さん(手前)、池原さん、小野さん



加納さん(手前)、小泉さん(後)、中島さん

# 第3章 2000年シニア月例山行会報告

シニア月例山行会委員長 塚原伸一郎(2)

2000年、シニア月例山行は2年目を迎え、充実、発展した1年となりました。

1月から4月までは好天が続き、多数参加者を集めました。5月は雨の天城山、見上げるばかりのアズマシャクナゲと東国ミツバツツジは見事でした。6月、花の名山平標山も雨となり参加者もダウンしましたが、ハクサンイチゲ、ハクサンコザクラの大群落には皆満足しました。

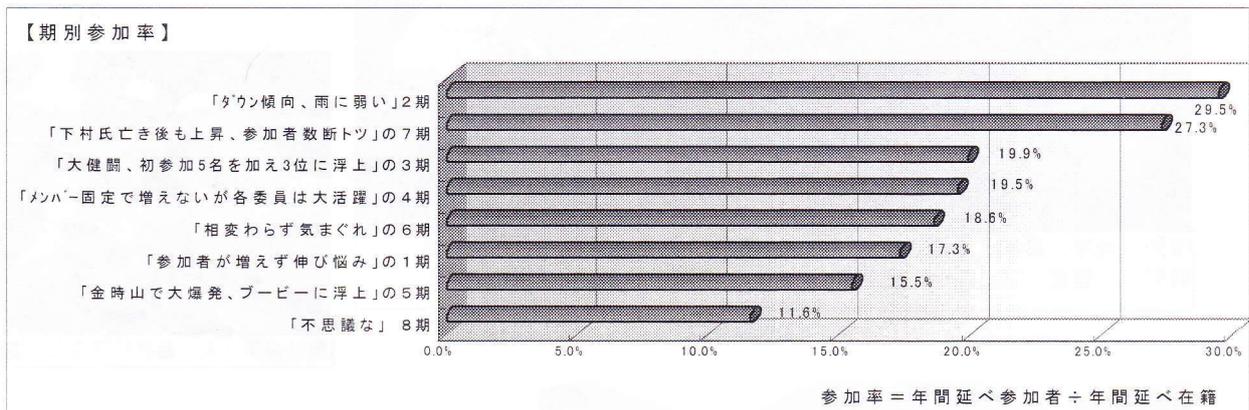
下半期は再び晴天となりました。7月の奥多摩御前山は、現役時代を思い出させる豪快な汗を流しました。8月の黒斑山はさすが信州の高原、爽やかな晴天の下、迫力満点の浅間山と、いまや盛りのマツムシソウを鑑賞し、池の平回遊を加え満足度はさらにアップしました。9月の金時山は最多数タイの35名を予定していましたが、前日の雨で参加者が落ちこみました。10月は恒例の第12回シニアの集いで会報18号の報告の通りです。11月、快晴の畦が丸は絶好のコンディションのもと、コース、紅葉ともに爽快な1日となりました。12月の石割山も快晴で、開始以来最多の39名が参加しました。石割山から眺めた南アルプスは抜群でした。一時は畦が丸が企画賞候補にあげられていましたが、参加者の多さと南アの大展望が大きくものをいい、石割山が年間企画賞に輝きました。

## 【2000年実施状況】 (延べ参加人員：304名、1回あたり27.6名)

回	日	山域	天気	企画	参加	回	日	山域	天気	企画	参加
12回	1/22	十国峠	晴	亀井(5)	31名	18回	7/22	御前山	晴	腰塚(3)	16名
13回	2/27	鐘が岳	晴	岡田(6)	29名	19回	8/26	黒斑山	晴	齊藤(4)	27名
14回	3/25	扇山	晴	下村(7)	28名	20回	9/24	金時山	曇	亀井(5)	21名
15回	4/22	鳴虫山	晴	池原(8)	29名	21回	11/25	畦が丸	晴	岡田(6)	32名
16回	5/27	天城山	雨	嘉納(1)	35名	22回	12/23	石割山	晴	小林(7)	39名
17回	6/24	平標山	雨	2期吉野	17名						

年間11回で延べ参加者304名、1回あたり27.6名は前年(23.8名)を大きく上回りました。

期別参加率は、1位と2位は前年と同じですが、2位の7期が大きく伸ばし、ダウンしてきた2期に急接近しました。3位の3期は前年が7.5%で最下位でしたので今年は大躍進です。5期も順位は7位と同じですが、前年は9.5%、今年は15.5%と大きく伸ばしました。



今年の初参加は16名で当初の目標15名を見事突破しました。

これでシニア総会員139名のうち、1回でも月例に参加したことのある人は家族を含め72名となり、過半数(51.8%)となりました。もう一つの目標“年間無事故”も前年に続き達成。

年間表彰は、名誉の皆勤賞が2期吉野氏と3期腰塚氏です。暇な順に有利だとも言えますが、腰塚氏の月例開始以来2年連続皆勤はギネスものです。

企画賞は11月畦が丸を逆転して12月石割山の7期小林氏に。また、生前シニアの集いの幹事、また月例委員として抜群の活躍をされた故7期下村氏には特別賞が贈られました。12年間にわたり会の公認カメラマンとして、シニアの集いや月例やマ行の写真を一手に引き受けてご尽力いただいている4期谷上氏には会長名による功労賞が贈られました。表彰された方には、表彰状に加え、副賞として皆勤賞にはフリースジャンパー、企画・特別、功労の各賞はシナノ提供のストックが贈られました。

この2年間の月例山行の傾向と課題としては次の4点があげられます。

1. 1度は参加したが再び参加しない人が多い。
2. 雨に弱い。雨天では無理しないのが基本方針だが、前日雨で当日やんでもキャンセルしてしまう。
3. 丹沢、伊豆箱根方面の人気の高い。やはりホームグラウンドは身近に感じるのか。
4. コース、日程、行程、交通等の更なる検討。魅力あるコースの選定(山、花、温泉、味覚)、交通手段の拡大、曜日(土、日、平日)の検討、複数コースの提供等々。

【その他の記録】

初参加者
3期：諸節, 白井夫人, 江崎, 森井, 前田
5期：谷合夫人, 高須, 高須夫人
6期：秋山
7期：奥野, 林, 能地, 久保木, 古宮
8期：溝田, 8期池原母

多回数参加者
11回 吉野(2)、腰塚(3)・・・皆勤
10回 吉田(1)、宮崎(2)
9回 白井(3)、亀井(5)
8回 塩谷(3)、谷上(4)、松本(6)、服部(7)、加納(7)、池原(8)
7回 北見(2)、原隆子(4)、亀井昭子(4)、岡田(6)、岡田美奈子(6) 小林(7)、南雲(7)、松本真理子(8)、8期池原夫人

訃報

7期加納和子(旧姓 岡村) 平成13年6月5日逝去、享年56歳 死因：ガン

遺族：夫、一男・二女

履歴：社会保険労務士。現役時代はマネージャーの一員として大活躍。卒業後も60年代から女子としてはただ一人OB会事務局に顔を出し、またシニアOBの集いの幹事として、更にシニアOB月例山行会のアドバイザリー・スタッフとして女子OBを代表して活躍。ガンが再発し入院後二ヶ月で不帰の人となった。入院時の遺言に従ってデザインされた全山お花に覆われた祭壇の前で、大勢のOB諸兄弟が山の唄を歌ってお別れした。(報告：7期服部)

第4章 柏崎便り

池原 盛彦(8)

若い方はともかく、シニアOBの方は「ヨネヤマサンカラクモガデターー。イマニユダチガクルヤラピッカラヒヤッカラトンカラリントオトガスル。」という歌はご存知ですよね。私の住んでいる柏崎市の南方にはこのヨネヤマサン 992mがそびえています。

私は「ヨネヤマサン」とは「ヨネヤマ山」かと思っておりましたが実は「ヨネ」という名の山でその「米山」を親しみを込めて「米山さん」と呼ぶのだそうです。

ところでこの山の名「ヨネ」にも以下のような由来があるんですね。

この山は昔は五輪山と呼ばれていたそうである。この山に泰澄というえらい坊さんと沙弥という若い坊さんが住み付いた。この山の麓には海が開け沙弥はこの海を見下ろしながら、沖を通る船に鉢を飛ばし、二人がその日に食べる米や味噌や野菜を恵んでもらった。

ある日、沙弥は米俵を満載した船に例のように鉢を飛ばし「これに一ぱい米を恵んでください」と頼んだ。しかし船頭はすげなく断わり通り過ぎようとした。

沙弥は「鉢に一ぱいがだめなら俵でもらおうか」といって呪文を唱えると船の米俵はふわりふわりと舞い上がり五輪山山頂に俵の山を築いた。船頭は困って自分の心の貧しさに気づき心から詫言米俵を返してもらった。それからこの山を米の山すなわち米山と呼ぶようになったそうである。

さすが米どころ新潟の山の名ですね。



柏崎の社宅から眺めた「米山さん」

「こすっても 煙も出ない 一期生」 「おっ！これ 五・七・五 になっているじゃないか！」とは田吾(作)さん こと田上君の弁。しかし皆さん、あらぬ事を想像して頂いては困る。これは我々ワンゲル部が本格的に始めて活動した北アルプス・徳沢園のベースキャンプでの思い出話である。

食事当番は夜も明けやらぬ3時に起き出して火を付けようとしたが、夜露のためかマッチをこすっても煙も出なかったことや、誤ってラジュウスのオイルを味噌汁の中に入れてしまったことの話である。今日の同窓会はこのような話から始まったのである。

我々一期生としては初めての同窓会は梅香る如月の奥湯河原・敷島館にて開かれた。一期生はこれまで同窓会というものを開いたことがない。この春で引退する人が増えたので、一期が幹事となるシニアOB会の月例会に合わせ、21世紀の冒頭に第一回の同窓会を開いたのである。

日本の高度経済成長の一環を担い日本復興に寄与したと自負する一騎当千の強者達ではあったが、集まって喋ってみれば、40年程前の立野分校カマボコ部室でのダベリングとちっとも変わっていない。今は第一線より徐々に退き、顔を見れば白髪まじりのあるいは頭髪の淋しげな連中ではあるが、話す手柄やその姿勢は全く昔のまま。年相応に懐古的ではあるが、それを抽象化して文明史的に文学論に発展してゆく。そして哲学的でもある。ちょっと青臭いが、充分に経験に裏打ちされた重みもある。

その時の話の高尚にして通俗なところ、哲学にしてナンセンス、卓抜にして陳腐なところを断片的ではあるが若干網羅してみたい。後は読者の皆様方のご想像にお任せしたいと思う。

「いつの世でも変わるものと変わらぬものがある。我々学生の時に、21世紀になったらと想像したことなどと全く違っている事もあるし、昔のままのことも多いよナ」とは嘉納君。

「ハードだソフトだとか言っても、結局はマインドハートだよナ」とはチンさんこと桑原君。

「我々の時はナノはなかった。ましてやピコなんか・・・」「計算機なんか手でグルグル回してさァ」「いや計算尺の世界だったよ」「そうそう、あのころの世界はアナログだったよナ。デジタルより心があると思わない?」「ところでゲームソフトをしている人は??・・・」(誰も手を挙げない!)

「イゴ(囲碁ソフト)気を付けよう」とは相変わらずというより、磨きのかかってきた駄洒落の元さんこと望月君。

「落語の世界はバーチャルなんだよナ」。

「ところで老眼鏡は目に合うか?」「いや目が合わせてくれているよ」

「いままではブランド物とか高いのを自慢にしていたが、この頃はいかに安く買ったか自慢するようになったと思わない?」

「ところで皆さんにスキューバダイビングをお勧めしたい。世界が一変に変わるから」とは資産を株で運用している藤岡君。

それから暫くは株談義、スキー談義、日本人とアメリカ人、ヨーロッパ人の意識論。シーガイアからユニバーサルスタジオ等々夜の更けるのも忘れて話は弾んだことでした。



一期同窓会 H13.3.25 奥湯河原敷島館前にて (吉田輝撮影)  
後列左より、田上、藤岡、松本、嘉納、桑原、河野  
前列左より、吉田輝、望月、吉田光、佐藤

# (お知らせ) 2002年度OB総会開催のご案内

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

会長：嘉納秀明(1)

この度、下記要領にて2002年度OB総会を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。ここ数年のOB総会は、より多くの方に参加していただけることを目的に、毎年場所を変えながら開催しております。今年はアプローチが比較的便利な横浜西公会堂で開催することとなりました。

総会への出欠につきましては、同封の葉書にて、10月19日(金)必着でご返信ください(なお、ご出席いただけない場合は、総会の議決に関する委任の有無もあわせてお知らせ下さい)。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。最後になりましたが、ご健康にはくれぐれもお気をつけください。

## 記

### 『2002年度総会について』

【日時】平成13年11月10日(土) 15:00～16:30 (14:30受付開始)  
その後懇親会会場に移動 懇親会 17:00～19:00 (16:30受付開始)

【場所】**総会** “西地区センター内 西公会堂 第1会議室”

【横浜市西区岡野1-6-41 電話:045-314-7733】

(横浜駅西口から徒歩10～15分。パルナードを通り岡野町交差点(新横浜通り)を渡って左折、50m先を右折すると公会堂正面です。駐車場が小さいため満車時は近辺の有料駐車場へ)

**懇親会** “ベニスの裏街れすとらん”

【横浜市西区南幸2-15-1 ティノビル2F 電話:045-314-5211】

(横浜駅西口から徒歩約5分のパルナード沿い。ビックカメラの道路を挟んだ向かい側。駐車場は西口地下駐車場など近辺の有料駐車場利用。)

【会費】6000円(懇親会費用込み) 同封の振込用紙にてお振込み下さい。

【主な議題】2001年度決算・事業報告、2002年度予算・事業計画、小屋事業報告・計画、現役活動報告等

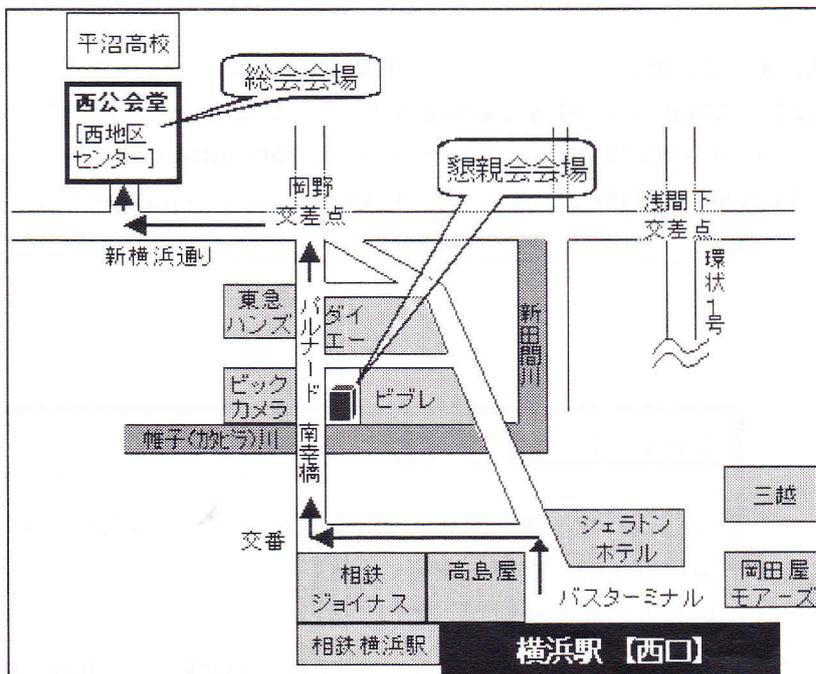
【お問合せ】藤井謙一郎(33) TEL:090-3573-9259(携帯) / メール:ken-fujii@mc.neweb.ne.jp

笠原 正大(41) TEL:090-4172-0032(携帯) / メール:kasahara@ma3.justnet.ne.jp

吉野大次郎(2) TEL:045-981-0921(自宅) / メール:yoshino@ca.catv.ne.jp

【その他】懇親会会場は貸切りです。同期会などご利用になってはいかがでしょうか(16:30より受付が待機いたします。もし計画がある場合は事前にご一報下さい)。

また、総会のみご出席の方は、個別にいずれかの連絡先までお問合せください。



以上

## 第6章 会計報告 (追加入金)

会計幹事：吉野大次郎(2)

昨年来皆様に頂いたご寄付を以下に報告し、御礼に代えさせていただきます。金券や物品の寄付も歓迎します。いただけるものがございましたら、OB会役員までご連絡下さい。

### 続・小屋寄付一覧 (00.12.08~01.3.31)

小屋会計への寄付	米屋勝利(2), 原隆(6), 田村顕洋(34), 村松俊明(21), 腰塚典明(3), 佐藤善樹(16), 和多治(28), 小泉啓治(15), 山口貢三(18), 荒木伸一(30), 土方康裕(35), 伊藤栄二(37), 堀内章子(18), 山田幸治(30), 安本健一(30), 八島明(7), 小林秀臣(7), 小林桂子(7), 能地尚文(7), 鈴木正(7), 林誠一(7), 森田正子(7), 小木曾克彦(7) 計 23 名 97,500 円 【会報 18 号掲載 143 名 総計 166 名】
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 続・2001年度前納会費納入者(2000.12.08~2001.7.31)

吉田光志(1)	腰塚典明(3)	谷昭仁(4)	竹内章二(4)	原隆(6)	鈴木弥栄男(9)
白須謙治(17)	鴨志田岳志(22)	鴨志田周子(24)	和多治(28)	小久保裕之(28)	麻生敬介(30)
八島明(7)	小林秀臣(7)	小林桂子(7)	橋本明美(7)*	奥野雅宏(7)	小木曾克彦(7)
坂井一成(30)					

前回会報記載(60名)の後、前納会費の入金を頂いた方は上の19名の皆様です。ありがとうございました。次回の会費支払いは2007年度です。なお、前納会員は本会報をお送りした封筒の宛名ラベルにそのむね記載しております。  
\*橋本様は2008年度

## (お誘い) 第4回OB山行のお知らせ

OB山行担当：小野恵美子(34)

4回目を迎えたOB山行は初冬の丹沢鍋割山と塔ノ岳です。空気がすんでいるこの季節ならではの、相模湾や関東平野、富士山などの山々の展望を楽しみましょう。

- ①日 時：平成13年12月8日(土)
- ②集合：小田急線 線 渋谷駅改札前 9:00 集合 (YWVOB 会旗が目印です)
- ③行 先：鍋割山(1,273m)、塔の岳(1,491m) 地図 昭文社山と高原地図21「丹沢」
- ④交 通：(往路) 新宿駅発 7:41 → 小田急線急行箱根湯本行 69分 → 渋谷駅 8:50 着
- ⑤コース：渋谷駅 → (タクシー、車分乗) → 二股 → (1'55) → 鍋割山 → (0'55) → 金冷しの頭 → (塔の岳ピストン往復 30分) → (1'20) → 二股 歩程 4時間 10分 (塔の岳ピストンカットの場合)
- ⑥会 費：500円(通信、写真、マイカー補助代)
- ⑦携行品：昼食、雨具、防寒具、水、その他登山に必要なもの。例年この時期はアイゼン不要です。
- ⑧申込み：11月22日(木)までに下記に電話、e-mail等でお申込み下さい。お問合せもお気軽にどうぞ。  
小野恵美子(34) TEL 0423-35-7251 (自宅) / メール emiko150@nifty.com  
笠原 正大(41) TEL 090-4172-0032 (携帯) / メール kasahara@ma3.justnet.ne.jp
- ⑧その他：マイカーでいらっしゃる場合、申込み時にその旨ご連絡下さい。

### YWVOB会 会報19号

平成13年9月8日発行

発 行：横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

発行責任者：嘉納 秀明(1期)

編集責任者：藤井謙一郎(33期)

03-5228-3597 / ken-fujii@mc.neweb.ne.jp